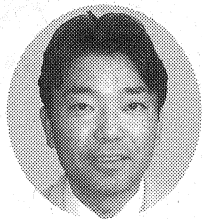


オンデマンド印刷

同業15社と「拡大本」作成

少量印刷の強味PR

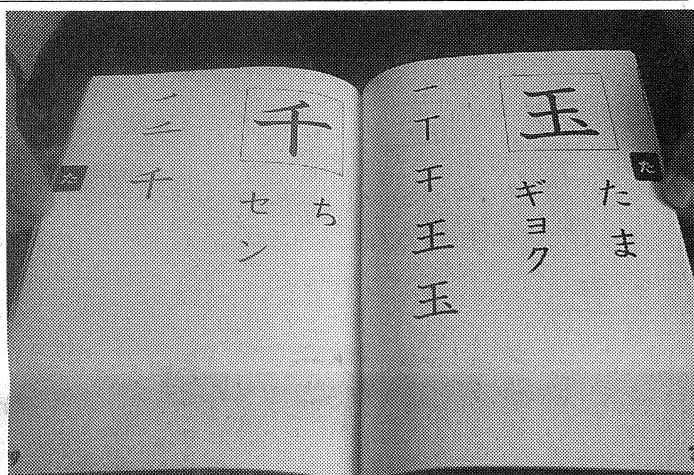
盲学校教材で社会貢献



生島裕久社長

印刷業のオンデマンド印刷（本社名古屋市中区新栄、生島裕久社長、電話052・249・3982）は、同業の所属団体「DSF」の会員企業15社と共同

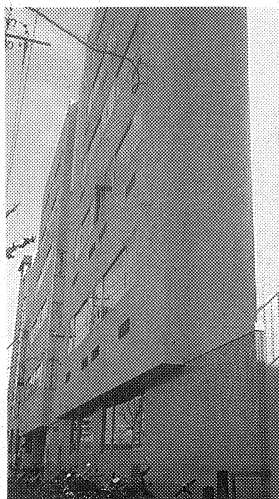
で「拡大本」を作成した。弱視者が読みやすいように文字を大きくしたのが特徴。社会貢献活動の一環として、全国の盲学校約60校に配布した。同社は、パソコン上で作成したデジタルデータをもとに印刷する「オンデマンド印刷」を手掛けている。印刷業界で主流のオフセット印刷に比べ、少量印刷・多品種・短納期に対応できるのが強み。オンデマンド印刷を得意とする全国の約60社で組織する団体「DSF」に所属し、印刷に関する新技術や新市場の研究を行っている。また、同団体は社会貢献活動にも力を入



弱視者が読みやすい「拡大本」

れている。盲学校の教材は必要部数が少なく、大量印刷が特長のオフセット印刷による作成は割合となる。そのため、印

オンデマンド印刷の本社が入るビル（名古屋市中区）



刷を手掛ける企業は少ない。そこで同社は、DSFの社会貢献活動の一環として、会員企業15社と共同で拡大本の作成に乗り出した。拡大本は、弱視者一人一人の視力に合わせて文字を大きくしているテキスト。漢字が、小学1年生用から中学3年生用までの9種類。漢字と、書き順、読み方のみが大きく載っている。英語は全年共通の1種類のみ。生島社長は「少量印刷に対応できる強みを生かして社会貢献できる。今後もDSFの活動を通して、オンデマンド印刷の知名度が広がるとうれしい」と話している。